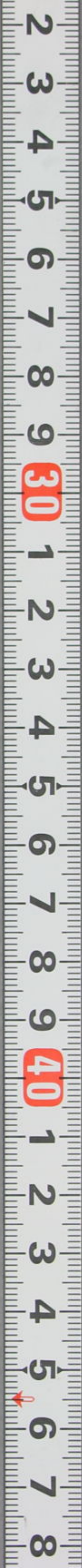




頭書

換箱の類抄



增補和昇題林抄上之二目錄

春部

春月 卯 虎中月 暮曉月

暮月出

幽栖暮月

佳月 暮月 暮月 暮月 暮月 暮月

暮月 暮月

在月 暮月

山家 暮月 暮月 暮月 暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月 暮月 暮月 暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月 暮月 暮月 暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月 暮月 暮月 暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月 暮月 暮月 暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月 暮月 暮月 暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月 暮月 暮月 暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月 暮月 暮月 暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月 暮月 暮月 暮月 暮月

暮月 暮月

暮月 暮月

同菅雅規詩三礙石遲來い
竊待牽流過手先遽
〇巴ノ字ト云ハ水ノ流れルガ
形ノ◎コレヲ云ナリ

〇桃李不言 史記桃李不言
下自成蹊

〇漢武帝他物と云のとな上
不王母ありて桃と云ナレモ
ふあひとあひと一帝と云
うつしとのことふあひと
これハ下界の物とありて
上界のもの云ふことありて
ふびと云ふことありて
うしんべと云ふことありて
てらと云ふことありて
〇桃源の事 漢の世に武陵の
人ありて桃を食ふと云ふ
よ桃の花ありてうらやま
ゆりぬかりとありて
このをれが男女二人ありて
あれへんたうと云ふことあり
ねる〇と云ふことありて

家集
おとこりん人ともさめしうの
とあひのともさめしう家の
桃李不言 史記桃李不言
下自成蹊

〇漢武帝他物と云のとな上
不王母ありて桃と云ナレモ
ふあひとあひと一帝と云
うつしとのことふあひと
これハ下界の物とありて
上界のもの云ふことありて
ふびと云ふことありて
うしんべと云ふことありて
てらと云ふことありて
〇桃源の事 漢の世に武陵の
人ありて桃を食ふと云ふ
よ桃の花ありてうらやま
ゆりぬかりとありて
このをれが男女二人ありて
あれへんたうと云ふことあり
ねる〇と云ふことありて

〇杜若
あひとあひと一帝と云
うつしとのことふあひと
これハ下界の物とありて
上界のもの云ふことありて
ふびと云ふことありて
うしんべと云ふことありて
てらと云ふことありて
〇桃源の事 漢の世に武陵の
人ありて桃を食ふと云ふ
よ桃の花ありてうらやま
ゆりぬかりとありて
このをれが男女二人ありて
あれへんたうと云ふことあり
ねる〇と云ふことありて

杜若

〇杜若
あひとあひと一帝と云
うつしとのことふあひと
これハ下界の物とありて
上界のもの云ふことありて
ふびと云ふことありて
うしんべと云ふことありて
てらと云ふことありて
〇桃源の事 漢の世に武陵の
人ありて桃を食ふと云ふ
よ桃の花ありてうらやま
ゆりぬかりとありて
このをれが男女二人ありて
あれへんたうと云ふことあり
ねる〇と云ふことありて

あひとあひと一帝と云
うつしとのことふあひと
これハ下界の物とありて
上界のもの云ふことありて
ふびと云ふことありて
うしんべと云ふことありて
てらと云ふことありて
〇桃源の事 漢の世に武陵の
人ありて桃を食ふと云ふ
よ桃の花ありてうらやま
ゆりぬかりとありて
このをれが男女二人ありて
あれへんたうと云ふことあり
ねる〇と云ふことありて

〇春の月
 〇天の宮
 〇地儀
 〇山・谷・河
 〇動物

〇春の月
 〇天の宮
 〇地儀
 〇山・谷・河
 〇動物

〇春の月
 〇天の宮
 〇地儀
 〇山・谷・河
 〇動物

〇春の月
 〇天の宮
 〇地儀
 〇山・谷・河
 〇動物

